

(別紙3)

## 当院の受け入れ能力の事前評価

### 1 病院基本情報

病院名称：公立小野町地方総合病院

病院住所：福島県田村郡小野町大字小野新町字槻木内 6-2

認可病床数：119床（一般60床、療養59床）

職員数：常勤医師2名、看護師68名、看護助手22名、薬剤師3名、薬局助手2名、  
臨床検査技師4名、診療放射線技師3名、管理栄養士2名、理学療法士2名、  
事務職員10名、企業長1名全職員119名

診療科：内科、外科、婦人科、整形外科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、  
形成外科

関連施設：訪問看護ステーションこまちの里

### 2 入院可能病床数

感染症病床：なし

ICU/CCU：なし

地域感染期において一般病棟（個室）を新型インフルエンザ等入院治療専用にした場合：5床

※全床を感染用にするのは体制維持困難

### 3 人工呼吸器管理

同時に維持管理可能な人工呼吸器数：3台

新型インフルエンザ等の人工呼吸器管理ができる医師数：3名（実質1名）

人工呼吸器管理下における専門的看護ができる看護師数：4名

臨床工学技士：2名

### 4 通常の診療継続に必要な職員の数

新型インフルエンザ等の診療対応に必要な職員の数：常勤医1名、看護師1名、検査技師1名  
薬剤師1名、事務1名

新型インフルエンザ等感染症の診療が可能な医師数：常勤医師1名

通常外来維持のため必要な医師数：最低1名

## 5 被害想定：欠勤率 40%の場合の推計値

○全職員	119 名×0.6=71
医師（常勤）	2 名×0.6= 1
看護師	68 名×0.6=41
看護助手	22 名×0.6=13
薬剤師（助手含む）	5 名×0.6= 3
臨床検査技師	4 名×0.6= 2
診療放射線技師	3 名×0.6= 2
理学療法士	2 名×0.6= 1
管理栄養士	2 名×0.6= 1
事務職員（企業長含む）	11 名×0.6= 7

<日頃より少ない人員で対応する場合>

- ・ 日頃の感染対策の知識と技術を学び、自分自身の感染を防ぎ、自身が感染しても同僚や患者に感染させないように発熱エチケット、標準予防策の実践を行う。
- ・ 看護業務はストップすると予想以上の診療継続体制の困難を生じるため、看護業務への支援は特に力を入れる。
- ・ 各部門の担当者が多くの業務をできるように、日頃からクロストレーニングを行う。
- ・ 診療継続を最優先とする業務の分担を検討する。
- ・ 事務作業は、地域感染期（流行のピーク時）には積極的に延期又は中止する。
- ・ スタッフが感染した場合は、業務を縮小する。